

For Adults Only

LAUREL

Chapter:4

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

淫魔ローレル・ブルーム

勇者として生み出されたもう一人の私
同行者の裏切りがきっかけで、
魔王アリアの手によって魔族となった。



「ローレルシリーズ」
私を素に生み出された
人工生命体。どうやって
生み出されたかは不明で、
世界中に戦火を振り撒く。

淫魔ローレルもその一人
魔王アリアの下へ
送られた一人だった。

あいつの話によると

同行者はグラーフ家の
長男デイル。貴族だ。
勇者となった私を目の
敵にしていた腐れ縁だ

魔族へと堕ちたローレルは
自分の生まれた理由を知り、
各地に送られた他のローレル達を
次々と堕とし自身の戦力としていった



あいつの進撃は止まらないだろう
自身を生み出した「トリル王国」を
滅ぼすその日まで…



正直、勇者ならばあいつを止める
のが正しいのだろう...だけど、
法国に好き勝手された怒りは
私にもある。名誉毀損もクソもない

もぐ

一度痛い目を見るとさえ
思っているくらいだ。
それに...

尊厳もなく何もかも奪われ否定された
あいつの顔...私と同じ顔で恨みに満ちたあの顔...
まるで自分の内面を映してるように見えて、
止める気が起きないのだ...勇者失格だな...私...

ローレル様!

ローレル様!

ぼーっとしながらの食事は
だめですよ!

あ、ああ...すまない

また、あのローレル様の
こと考えてたんですか?

ああ...

もうっ!

私も思うことはありますが、今考えても
なんの解決にもなりませんよ!
正直、他の個体の被害は減りましたが...

そこなんだよ

ですけども!
今は食事中!

はい

今は法国に対する情報と協力者を
募るのが先決ですから、今はそれだけを
考えていきましよう!

それでこそローレル様!

そう...ね

うん、
そうだね

悩んでも仕方ないね
私は私のできることをやるよ

では、私は教会で
お祈りを済ませてきますね

魔王領へ行った人形共は全滅か。
人的損失を防げるという話だが、
結果としては予算を食い尽くすだけ
ではないか。

息子も人形とともに魔王領へ行って
長らく連絡がない。
やはり行かせるべきではなかったか

現状、我が国の人形兵の戦力は半減。
後方で固めていた戦力を前に出すことで
なんとか戦線を維持していますが…
頼みの綱の聖女ルチルも今や生死不明…

やはり、教えに背いてあの
古代文明の遺跡を起動させる
べきではなかったのでは？

ましてや、勇者の
複製など…

カラドウッド司教？

何をいうか!!

あの遺跡なくして
我が国の繁栄はなかった！
遺跡は我が国へ神々からの贈り物
だと貴様も言ったではないか！

確かに人形共の数こそ減らしたが
遺跡は今なお複製を生み出し続けている
戦力の減少は一時的なものだ

それに…

すでに次の手も打っている

ごくん…

数日後…

ローレル様、「アニヤド」まで
あと少しです

そういえば…

アニヤド…

ルチルは無事だろうか

少し前に隣国の襲撃があつて
そこから不明で

あつ…

ユエル！

ドッザッ…

ユエル！
大丈夫か!?

しっかりしろ！

少しの辛抱だ
ユエル！

すごい熱だ…
アニヤドに急がないと

…っ！

…ひと通りの処置はしました

呼吸も少し落ち着いてきましたから、
少し様子を見ましょう

ああ…

突然ローレルさんがいらしたので
驚きましたが、間に合いましたね

それに…

それに？

あいえ！
こっちの話なので
気にしないでください！

そうか？

ほんと全然気にしないで
くださいね！

魔族になっても
変わらないな
ありがとう

ルチル

ローレル耐性0

魔族に堕ちたのに対応変わらない
とか、ほんとこの人っ！！

ユエルさんなのですが、私と同じ
神聖の力があるのですが、その力の
流れがめちゃくちゃになってます

そこんままではユエルの
体に大きなダメージが
出るかもしれません

一体どうして
こんな…

危ない！

きゃあつ！！

だめよルチル

そ、それよりも
ユエルさんなのですが！

落ち着くのよ
ユエル！

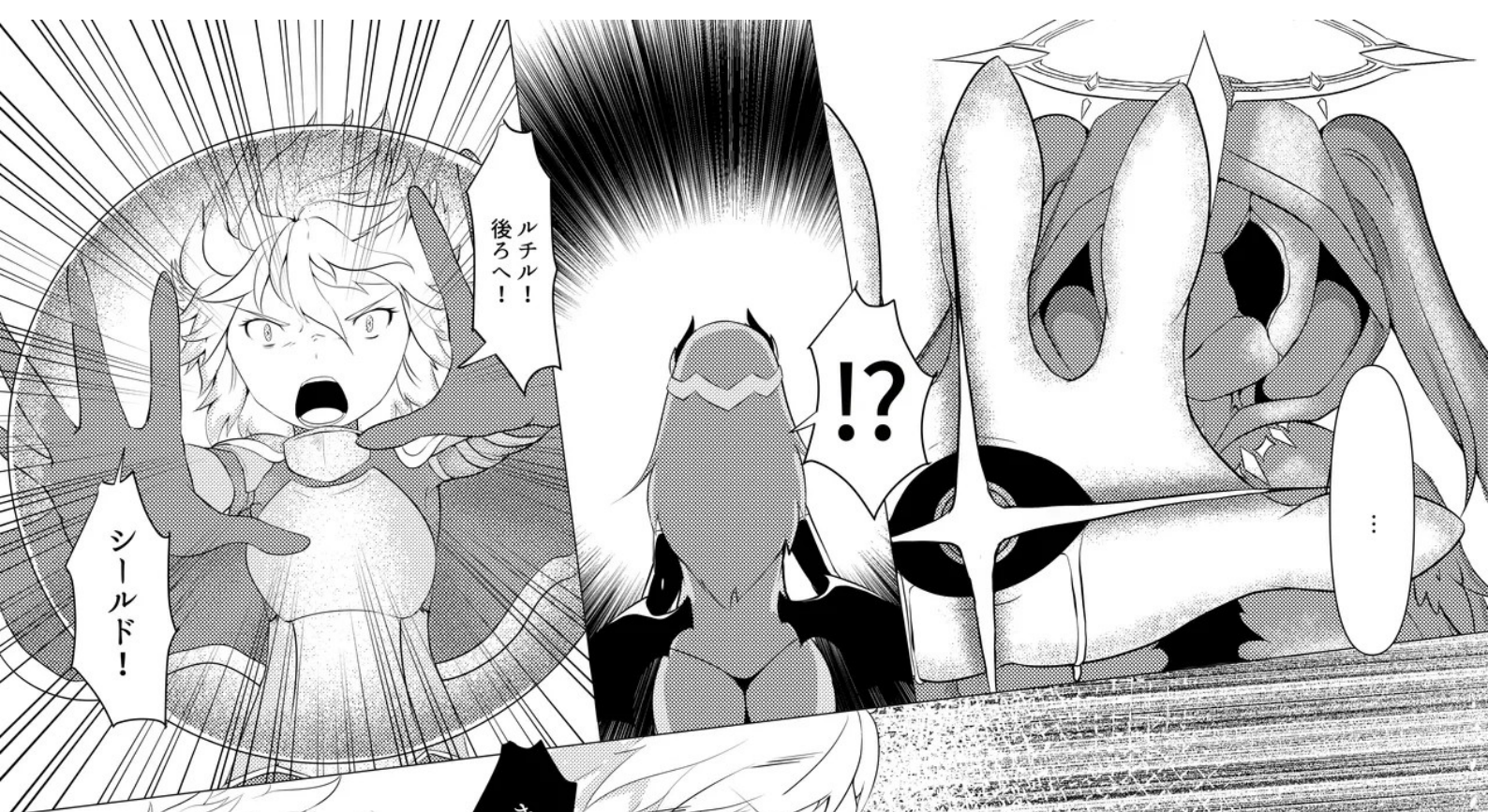


大丈夫か!?

はい、一体なにが…

!







その者は天使の種としての領域を不正に踏み込んだ。故に、我がその者を処分する。

殲滅天使 イリア

貴様は勇者ローレルだな？
なぜ、魔族と共にしているのかは
わからんが…邪魔をしないでもらおう



て、天使…様？

まさか天使様が…
なんで…



もう一度言う。
そこを退け

人間

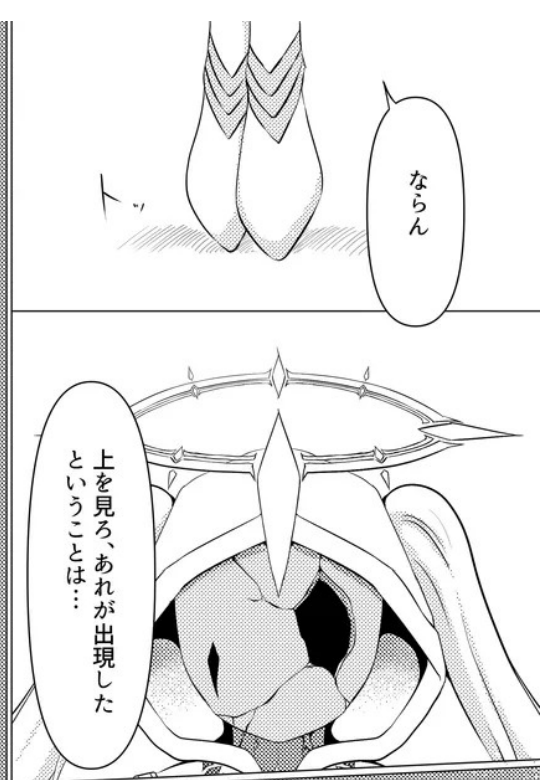
ま、待ってください！
あれは私の仲間なんです！
元に戻す力を貸していただけませんか？！

天使様！



その身の半分以上は人間ではなくなっている
あれは人間が天使と成った時のみ現れるもの

しかし、こいつはその資格はない
故に滅さねばならない



ならん

上を見る、あれが出現した
ということとは...



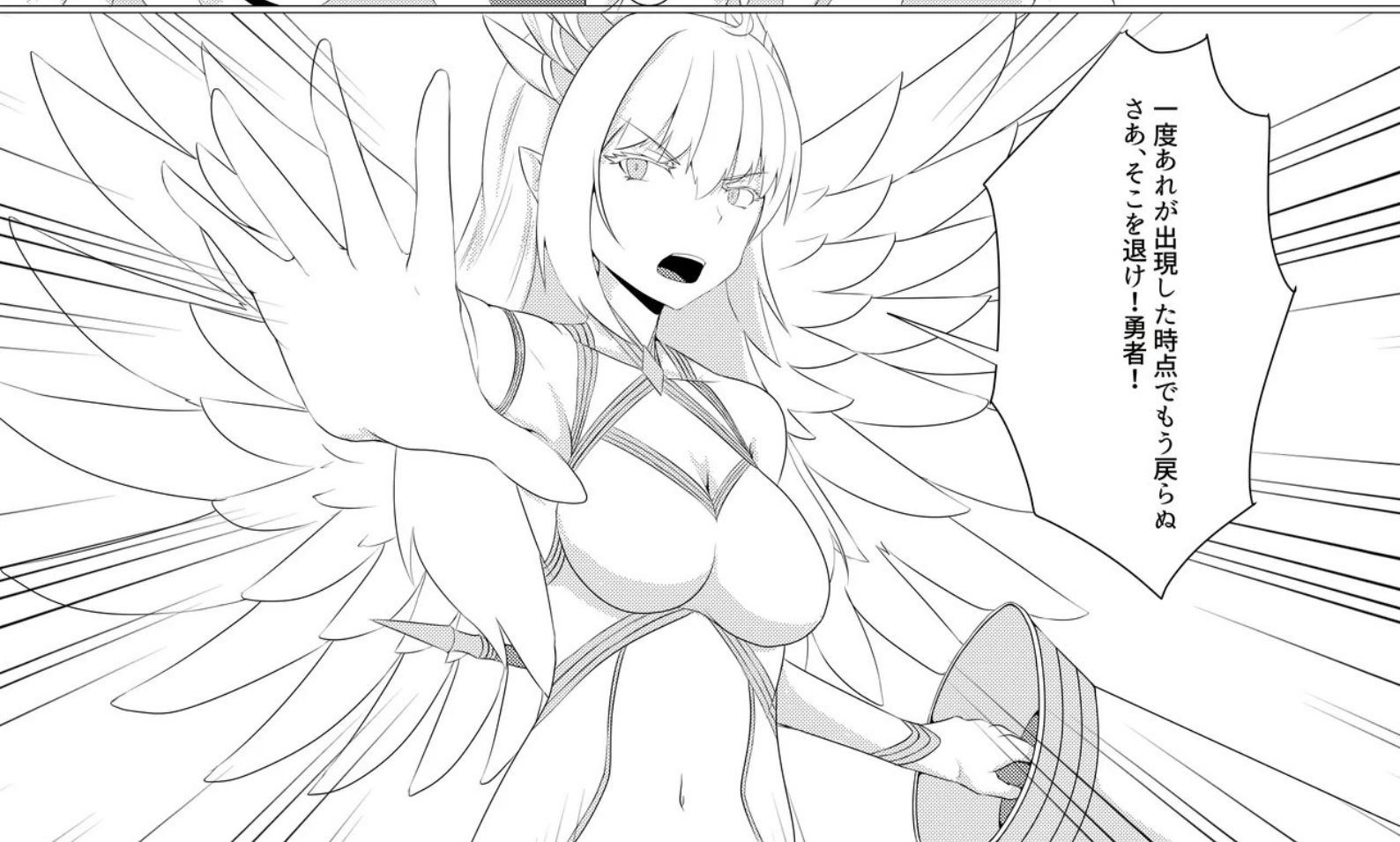
こいつ...諦めの悪さは
流石勇者というべきか...だが

その体では無理だ



私が引きずり出して
元に戻します！

半分...
ということは、まだ人間の部分が
あるということなんですね！



一度あれが出現した時点でもう戻らぬ
さあ、そこを退け！勇者！



バインド



ちよつと幻滅したなあ



結構物騒なんだね

私も堕ちる前は天使様を
信仰していたけど…



拘束魔法!?
…これは闇の力か



この魔力…あいつか



お前のパートナー、とんでもないことになっ
てるじゃないか。
手伝ってやろうか？勇者さん？

貴様!?



貴様の手を借りずとも、
こいつは我が滅してくれる！

邪魔をするな！



ナイス連絡だよ
ルチル。



まさか、お前が
ルチルを堕としたのか？

なぜルチルを…



です♡





助けなければ

お前の手で堕とせ。勇者よ



もつとも、選択するのはお前次第だ。
そのまま殺されるのを指を咥えて見ているだけか、
魔族に堕としてでもあいつを生かすか？

少しだけ時間を稼いでやるよ。
慌てず急いで念入りに考えるんだ。

このままだと、ユエルは天使に殺される…
堕とさないとユエルは生きられない…

待て

見たところそれは「邪竜の核」だ
あいつだけでなく、お前も堕ちるぞ

あいつを人間のまま
終わらせてやろうとは
考えないのか？

でも、何もできないまま
終わるのは嫌だ…
ユエルを堕とすのは大罪

その罪は
私が全て背負おう

ユエル

私は勇者だ。どんな形でも
どんな姿になっても…
君を生かしたい！だからっ

少し我慢して
くれよ？

天使様の言う通り、人間の尊厳を保つなら、
このまま信仰している天使様に任せて
終わらせてやるのが、教えを守るユエルに
とってはいいのかもしれない…







ユエル!!

私は君を
失いたくない!

戻ってこい!!
ユエル!!



いいや、成功だ

第一段階は

これで…ユエルは…

あれ…?

動かない…?

ハ—ッ

ハ—ッ



第一段階って…
うわ!なに触ってんの!?

第二段階の準備よ?
回復もしてあげる

ちよっ…やめ!
ばか!服を消すな!?

体が熱い…

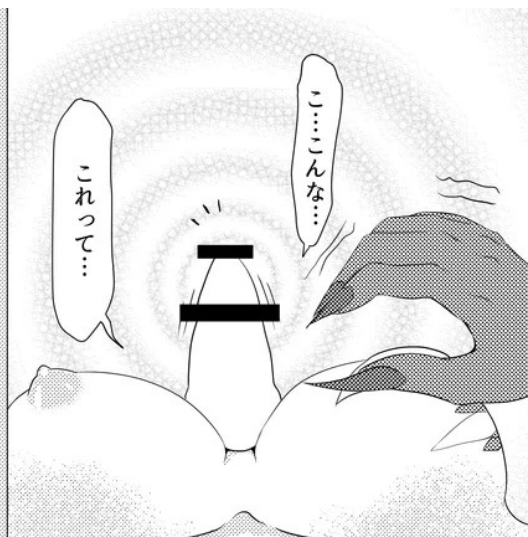
説明しよう
邪竜の核は肉体に植える
だけでは駄目なんだ

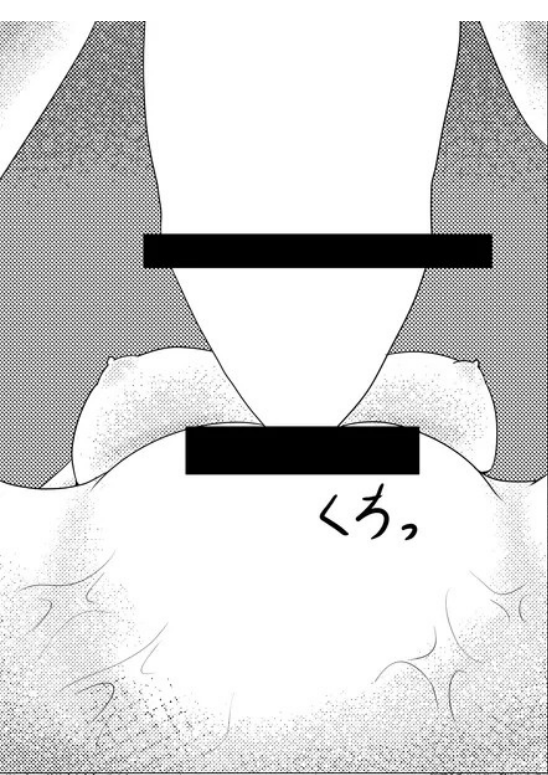
邪竜の核
(種)
+
魔力の元
(水・栄養)

植物の種を植えても水や栄養
がないと芽吹かないのと同じで
魔力がないと駄目なのだ

て
やあああああ

三





くちっ



私の宝…ユエルの全部
邪竜だもん、宝は私のもの



甘い…

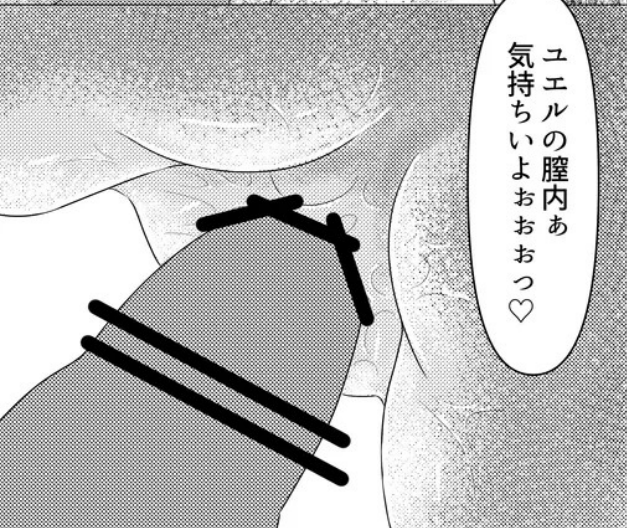
これが…

ユエル…
ユエルツ…!!



これっ…すげっ…♡

やちやった…♡



ユエルの膣内あ
気持ちいよおおっ♡

おち○ちんを通してユエルの事がわかる♡
ユエルも気持ちよくなってるんだね♡

ユエルッ♡ユエルッ♡

ごめんね…駄目な勇者で♡

ユエルの膣内です♡

あ、なにか来るっ♡
だめっ♡

でもっ…♡
ユエルともっとしたいの♡

イッちゃっ♡♡



私はユエルの…

ああっ…わたしっ…
ユエルを…

ごめん…ユエル…



…!!



始まったか…



あははっ

ん...♡

やっと帰ってこれた♡



ローレル様あ♡
ユエル戻ってきましたあ♡

ユエル…

本当にすまない…
私が不甲斐ないばかりに君の…



ユエルがどうしてあんなことになっ
てしまったのかも理解しましたし



助けてくれて
ありがとうございます♡

ローレル様？



いいんですよ。囚われてる私を助けようと
してくれたたのは見えてましたので♡

ローレル様が何度も何度も
私の名前を呼んでくれて
ユエルは幸せですよ♡



ごめん…君の初めても…

ローレル様のおちん○ん
すごく良かったですよ？

あうう…

かわいい…♡

ローレル様？
これからも一緒にいたいので…



あなたも
堕ちてください♡

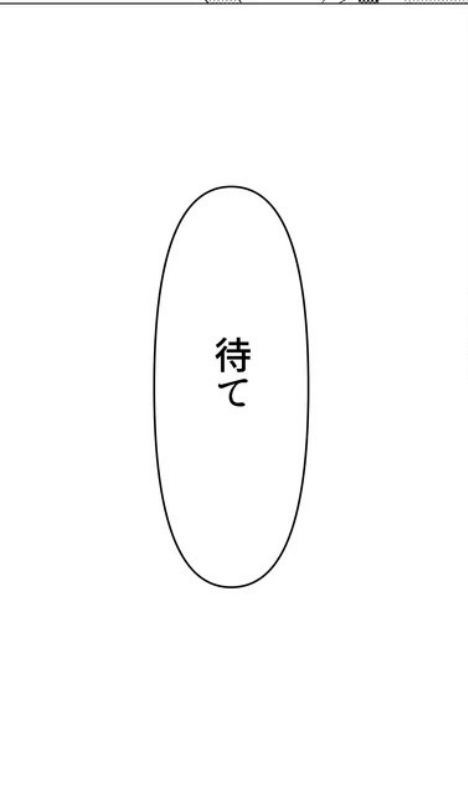
…うん♡



本当はこんなこと間違ってる…
そんなことわかってる
けど…ユエルはもう誰にも盗られたくない

ユエルの心も体も
全部全部全部ぜんぶっ

わたし
邪竜のものだから♡



うわ…騒音天使…

うげ…

誰が騒音天使だ!!

声デカっ…
なんの用?

疑天使化を邪竜へと転化させることで
我が二天使として処分を下すことができなく
なった手腕を褒めてやる

そこで貴様に問いたい

あの二人の顔を見ていたら、
私の考えは間違っていたのでは
ないかと思ってしまった。
貴様なら何が正解だと思う?

知らん

はあ!?
こっちが真面目に
質問してるのに貴様はっ

そんなもん、本人にしか
分からんよ

大体、私が堕ちて堕としてをしているのも
正しいのかも正解なのかも分からん。
正解かどうかは死ぬ直前で分かるもんだろ?

貴様…

こいつは…

ただ一つ
言えるのは

わたし あいつ
偽物も本物も
やつと自分の生き方を選ぶように
なっただけのことよ

奥 付

タイトル：LAURel4

発行日：2024年12月30日

イベント名：コミックマーケット105

執筆者・原作：葛葉ぽて

サークル名：墮落商会

印刷会社：株式会社日光企画 様

Twitter：@kuzunoha_pote

PIXIV:2567103

mail:pote.pote.wahu.wahu@gmail.com